

病 院 長 様

公益社団法人山形県看護協会
会 長 若 月 裕 子



令和5年度「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」開催について（ご案内）

時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当協会の事業運営につきましては、日頃よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、インターネットを利用したeラーニングを活用した標記研修会を別紙実施要項により開催することになりました。

研修受講により、通院されている患者様を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得し、在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てられることが期待されています。

つきましては、ご多用のところ恐縮に存じますが、貴施設看護職員の受講について、お取り計らいくださいますようお願いいたします。

記

- 1 期日・場所 1) eラーニング受講
令和6年2月1日～29日の期間内に、自施設・自宅等で受講
- 2) eラーニング受講後、下記いずれかの集合演習に参加
①令和6年3月10日（日）14：00～16：30
於：山形県看護協会・看護研修センター3階第1研修室
〒990-2473 山形市松栄1-5-45
②令和6年3月24日（日）14：00～16：30
於：酒田市勤労者福祉センター3階多目的ホール
〒998-0858 酒田市緑町19-10
- 2 受講料 山形県看護協会会員：2,470円 非会員：4,570円
- 3 申込方法 研修受講システム manaable から申込み、または所定の申込用紙に必要事項を記入し、eメール・FAX・郵送で申込みください。
- 4 応募期間 令和5年12月18日（月）～令和6年1月19日（金）
- 5 受講決定通知 受講決定通知は、令和6年1月22日（月）にeメールで通知します。
ただし、診療所に勤務する看護職員を優先的に受講決定し、定員（30名）に満たない場合に病院に勤務する看護職員を抽選で受講決定します。
- 6 添付資料 実施要項、チラシ
- 7 申込・問合せ 公益社団法人山形県看護協会 教育研修課
〒990-2473 山形市松栄一丁目5-45
TEL 023-685-8033 FAX 023-646-8868
E-mail : kensyu@nurse-yamagata.or.jp

外来における在宅療養支援能力向上のための研修－診療所・クリニック勤務者向け－

- 1 目的
 - ・外来看護を取り巻く現状と課題のもと、地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得できる。
 - ・習得した知識を、在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てることができる。
- 2 主催 山形県看護協会
- 3 方法 インターネットを利用したeラーニング講義を受講後、演習を受講する。
※ 演習受講はeラーニング講義の終了が必須条件となる。
- 4 期日・会場
 - 1) eラーニング受講
令和6年2月1日～29日の期間内に、自施設・自宅等で受講すること。
 - 2) 集合演習日 ①または②のいずれかを選択して申込み、当日は来場すること。
①令和6年3月10日(日) 14:00～16:30
場所：山形県看護協会・看護研修センター3階第1研修室
〒990-2473 山形市松栄1-5-45
②令和6年3月24日(日) 14:00～16:30
場所：酒田市勤労者福祉センター3階多目的ホール
〒998-0858 酒田市緑町19-10
- 5 定員 各演習日 30名
- 6 対象者
 - 1) 診療所・クリニック等に勤務する看護職
 - 2) 病院の外来に勤務する看護職(救急外来勤務も含む)
 - * 1) に該当する方を優先的に受講決定し、定員に満たない場合は2) に該当する方の中から抽選で受講決定する。
 - * 1) 2) とともに、常勤・非常勤等の雇用形態、短時間勤務等の勤務形態は問わない。
- 7 内容 プログラム参照
- 8 申込期間 令和5年12月18日(月)～令和6年1月19日(金)
- 9 申込方法 つぎの1) または2) の方法で申し込むこと。
1) 山形県看護協会研修受講システムmanaableから申し込む。(要事前利用登録)
2) 所定の申込用紙に必要事項を記入し、eメールに添付または郵送・FAXで下記宛に提出する。申込用紙は当協会HPよりダウンロードして使用する。
- 10 受講決定 令和6年1月22日(月)にeメールで通知する。
- 11 受講料 会員：2,470円 非会員：4,570円
- 12 納入方法 つぎの1) または2) の方法で支払うこと。
1) 研修受講システムmanaableより申し込んだ方は、manaable内で支払い手続きを行い選択した方法(クレジット決済・コンビニ払い・銀行振り込み)で支払う。
2) 申込用紙の提出により申し込んだ方は、銀行振り込みにより支払う。振込先は、受講決定時に併せて通知する。
- 13 連絡先 公益社団法人山形県看護協会 教育研修課
〒990-2473 山形市松栄一丁目5番45号
TEL: 023-685-8033 FAX: 023-646-8868
E-mail: kensyu@nurse-yamagata.or.jp

外来における在宅療養支援能力向上のための研修プログラム

【 eラーニング (200分) 】

章	単元／主な内容	講師(所属等)*敬称略	時間
1	外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護職の役割 1. 外来看護を取り巻く環境の変化 2. 外来医療に関する政策動向 3. 社会の変化と政策動向に基づく外来看護職の役割	吉川 久美子 (公益社団法人日本看護協会 常任理事)	40分
2	外来における在宅療養支援 1. 在宅療養支援とは 2. なぜ在宅療養支援が必要か 3. 在宅療養支援を担う看護職の役割	永田 智子 (慶応義塾大学看護医療学部 教授)	40分
3	在宅療養支援を支える地域連携とネットワーク 1. なぜ地域連携が必要か 2. 地域との連携体制構築の方策	吉田 千文 (常磐大学看護学部教授)	40分
4	在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援 1. 意思決定の現状と課題 2. 外来看護職に求められる意思決定支援	藤井 淳子 (東京女子医科大学病院 家族支援専門看護師)	40分
5	在宅療養患者(外来患者)を支える社会資源 1. 在宅療養患者が活用可能な社会資源の基礎知識 2. 地域における多職種連携・協働の実際と推進の必要性	松本 明子 (医療法人社団聖カタリナ病院 ナースマネージャー)	40分

【 事前課題 】

eラーニングによるすべての講義を受講後、演習実施前までに下記の①②について、受講決定後、資料と共に配布する事前課題シートに記述し、演習当日に持参する。

- ①地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について
- ②外来における療養支援について自身が感じている課題

【 演習 150分 】

主な内容	
講義	地域の現状や自施設を取り巻く状況等について
事例検討	グループディスカッション
全体共有	グループからの報告および質疑応答・意見交換

外来における在宅療養支援能力向上のための研修 ～講義と演習を組み合わせた研修です～

在宅療養支援の要となる外来看護職を対象とした研修です。講義はeラーニング、演習は集合で学び実践力を強化します。

研修目的

- 外来看護を取り巻く現状と課題のもと、地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得できる。
- 習得した知識を在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てることができる。

受講対象

診療所・クリニック等に勤務する看護職

ただし定員に満たない場合は、病院の外来に勤務する看護職の方の受講も受け付けます。
いずれも常勤・非常勤等の雇用形態、短時間勤務等の勤務形態は問いません。

受講方法および演習日（会場）・定員

インターネットを利用したeラーニング講義受講後、演習を受講ください。

- 演習日1：令和6年3月10日（日）14：00-16：30 30名（於 山形県看護協会会館）
2：令和6年3月24日（日）14：00-16：30 30名（於 酒田市勤労者福祉センター）
*演習は1・2のいずれかを選択して、お申し込みください。

申込方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。

- 1：本チラシ裏面の申込記入欄（下線以下）に必要事項を記入し、下記宛に郵送・FAX・eメールで提出する。
- 2：山形県看護協会研修申し込みサイト manaable から申し込む。
*右のQRコードを読み込んでサイトにアクセスしてください。
*会員・非会員問わず利用可能ですが、事前登録が必要です。



研修受講料

山形県看護協会会員：2,470円 非会員：4,570円

問合せ・申込先

公益社団法人山形県看護協会 教育研修課
〒990-2473 山形市松栄 1-5-45
TEL 023-685-8033 Fax 023-646-8868
e-mail kensyu@nurse-yamagata.or.jp

外来における在宅療養支援能力向上のための研修プログラム

eラーニング (200分)

章	単元／主な内容	講師(所属等)*敬称略	時間
1	外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護職の役割 1. 外来看護を取り巻く環境の変化 2. 外来医療に関する政策動向 3. 社会の変化と政策動向に基づく外来看護職の役割	吉川 久美子 (公益社団法人日本看護協会 常任理事)	40分
2	外来における在宅療養支援 1. 在宅療養支援とは 2. なぜ在宅療養支援が必要か 3. 在宅療養支援を担う看護職の役割	永田 智子 (慶応義塾大学看護医療学部 教授)	40分
3	在宅療養支援を支える地域連携とネットワーク 1. なぜ地域連携が必要か 2. 地域との連携体制構築の方策	吉田 千文 (常磐大学看護学部教授)	40分
4	在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援 1. 意思決定の現状と課題 2. 外来看護職に求められる意思決定支援	藤井 淳子 (東京女子医科大学病院 家族支援専門看護師)	40分
5	在宅療養患者(外来患者)を支える社会資源 1. 在宅療養患者が活用可能な社会資源の基礎知識 2. 地域における多職種の連携・協働の実際と推進の必要性	松本 明子 (医療法人社団聖カタリナ病院 ナースマネージャー)	40分

事前課題

eラーニングによるすべての講義を受講後、演習実施前までに下記の①②について、受講決定後、資料と共に配布する事前課題シートに記述し、演習当日に持参する。

- ①地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について
- ②外来における療養支援について自身が感じている課題

演習 (150分)

主な内容

講義	地域の現状や自施設を取り巻く状況等について
事例検討	グループディスカッション
全体共有	グループからの報告および質疑応答・意見交換

受講申込

下線以下の項目を記入の上、下記宛先まで郵送・eメール・FAXでお申込みください。添書・切取りは不要です。本用紙(コピー可)をそのままご活用ください。受付後、担当者より電話連絡いたします。

宛先 〒990-2473 山形市松栄 1-5-45 山形県看護協会教育研修課

eメールアドレス:kensyu@nurse-yamagata.or.jp

Fax:023-646-8868

申込者氏名(ふりがな)

演習希望日に○をご記入ください。

お勤め先 () 3/10(日) 山形会場

電話番号(自宅・携帯のいずれか) () 3/24(日) 酒田会場